

# 河内神社報

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南(彩が丘)の氏神様

発行所:〒731-5151広島市  
佐伯区五日市町上河内  
http://kochijinja.org  
河内神社社務所

みんなで声出し、茅の輪をくぐろう！ 上半期のお祓い

## 夏越神事

にお参り  
ください

宮司 山田茂雄

7月  
2日(日)

夏祭り  
夏越神事

午後2時

早朝石段を上がりきると爽やかな香りが漂ってきます。境内の榊の花が満開、生命の力強さを感じます。梅雨の雨ですくすくと育った茅を束ねて輪にした茅の輪は緑が濃く私たちを迎えてくれます。



『夏越大祓』『茅の輪くぐり』『夏祭り』の神事は、この上半期と下半期の境に、心身とも祓い清め、清浄な状態に立ち返り、世の平穏を祈る神事です。私たちは日々の暮らしの中で、知らず知らず罪や過ちを犯しています。コロナは終息の兆しが見えてきました。夏越神事で上半期の災いを祓い清め、今一度、心新たに取組んでいきましょう。どなたもご参加いただけます。適切なマスクの使用をお願いします。人形を持参して、災いの終息、無病息災を祈願しましょう。

### 夏越大祓 罪穢れのお祓い

皆様の人形をご神前に納め、参列者全員で大祓の祝詞を唱和します。その後、切麻(麻と和紙の小片)を左右に撒いて自身を祓い清めます。祓い清めの後に、人形をお焚き上げて、人形に移した罪や穢れを火の力で祓い除けます。



茅の輪は「備後国風土記」に登場します。貧しいながらも蘇民将来は、武塔の神(素戔嗚尊)に一夜の宿を貸して、もてなします。そのお礼に武塔の神は、「蘇民将来の子孫と言つて、茅の輪を腰に付けた人は疫病に罹らない」と言われました。この話に登場する素戔嗚尊は河内神社の御祭神で、昭和には茅の輪をくぐる神事を行っています。神職が先導し、茅の輪を8の字を描くように3回くぐり、「水無月の夏越しの祓えする人は千歳の命延ぶというなり」と唱えて祓い清め、疫病退散・無病息災を祈る伝統の神事です。茅の輪は6月28日〜7月17日まで設置します。

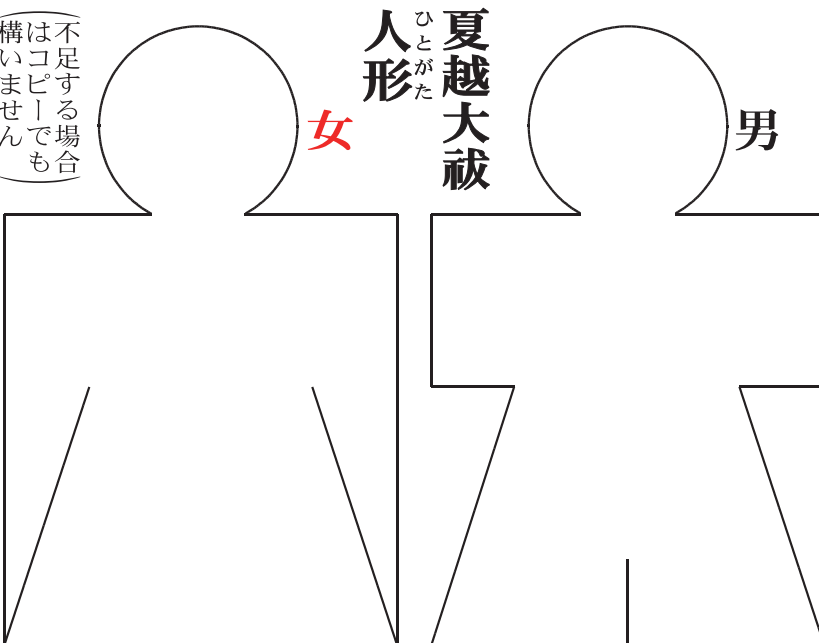
### 夏祭り

お初穂を供えて  
安寧を祈る

夏越神事後、参拝の皆様と拝殿に昇殿し、夏の暑さに負けず健康で家庭平穏に過ごせるよう、また、風水害や害虫などの災害が起こらないよう、氏子の皆様から奉献されたお初穂を河内神社の神様にお供えしてお祭りを行います。



人形は、事前に地区の氏子総代さんを通じて各家庭へ配って頂きます。総代さんが不在の地区(藤の木、河内南、遥花など)の方は、本紙の人形を切り抜いてご使用ください。



### 人形の使い方

- ①一人ごとに、①氏名・年齢を記入して、②体をさすり、③息を吹きかけて身に付いた半年間の罪や穢れを移し、④神社へ当日ご持参ください。(当日に参加できない方は、事前に人形をご持参ください。ほかの方に託されても結構です。人形は当日まで社頭にも用意があります。)

幸せつながる河内神社

御守

御守

### 夏の御守

—ちのわ—

御守の中央は、平安時代より前の長岡京時代の最古の蘇民将来札です。小さな茅の輪とともに災難除け、健康の御守とします。平安末期の歌にもあるように夏越大祓は長寿の神事と信じられています。河内神社限定の御守には携行しやすい茅の輪が入っています。茅之輪御守800円。河内神社で夏の期間・数量限定頒布。



河内神社百年遷宮事業奉賛会だより

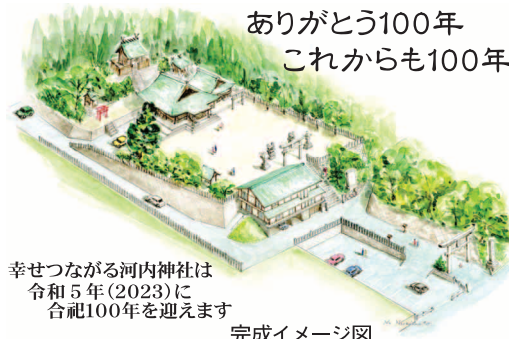
河内神社百年遷宮事業の設計状況

百年遷宮事業奉賛会会長・総代長 先本民治



ホームページ

3年間に渡り、コロナ禍に耐え忍び来た日々でありました。やや終焉に向けて順風の兆しが見え始めた昨今、人々の往来が以前の状態に戻りきております。氏子諸兄の皆様には神社祭事に際し、多くのご協力、ご尽力をいただき衷心より感謝申し上げます。



幸せつながる河内神社は令和5年(2023)に合祀100年を迎えます

ありがとう100年 これからも100年

完成イメージ図

ご心配をいただき、申し訳なく感じております。承認いただいたております事業の計画骨子のもと、専門家を交えて社務所新築、参道新設の具体的な図面を検討・作成し、現在、詰めの段階です。各役所の専門部署にて相談し、建築・土木の関連法令等の指導を受けつつ、都度、申請図面を改定して提示してきました。近年の熱海の盛土流出災害などにより、勘案すべき法令・条文が新たに増えるなど、土砂災害の警戒区域にも対応しつつ、法令に適合する図面がほぼ完成しつつあります。広域な神社境内地、急傾斜地、社務所と境内地の高低差、進入路としての境内地開削など、目に見えない検討・対応を多く要した起工前の事業期間でありました。ここまでの経緯にご理解をいただきたく存じますとともに、現況を報告いたします。

また、微動ではありませんが、近々には現場での作業が開始いたします。長期に渡る設計作業の中、諸兄に御心痛を与えたとご無礼をお許しください。お気付きの諸事がありましたらご指導賜りますようお願いいたします。地域、ご協力者の皆様、暑さに向う時節柄、お体ご自愛いただきますようご祈念申し上げます。

百年ぶりの遷宮大祭へ

河内神社は、延喜3年(903)の創祀を含む、八幡神社(上河内中郷)、佐古神社(上河内下城)、客人神社(上河内魚切)、日吉神社(下河内「河内南含む」)、新宮神社三社(下河内白川・上小深川・下小深川)、大宮神社(上小深川野登呂「藤の木含む」)の8社で明治40年(1907)に合祀、浄財で整備されて大正13年(1924)に今の姿になりました。皆様のご協力により、次の100年へつなぐ令和の百年遷宮事業が展開されています。



合祀当時の河内神社の竣工記念写真

河内神社のこよみ (令和5年7月〜10月)

7月16日(日) 午後2時 祇園祭



8月14日(月) 午後7時半 献灯祭



10月7日(土) 午後6時半 秋祭前夜祭



10月8日(日) 午後2時 秋祭例大祭



河内神社令和4年度決算(4年4月〜5年3月)

〔繰越金〕二百六十八万円／〔歳入〕千一万円／〔歳出〕七百九十二万円／〔残金〕五百十八万円。〔歳入の主なもの〕祈禱料百三十三万円、賽銭百七万円、御札・御守・破魔矢等五百二十二万円、玉串料百三十三万円、初穂料・祭典費百三十三万円。〔歳出の主なもの〕祭典費六十五万円、神職給三百万円、御札・御守・破魔矢等の仕入百五十六万円、事務費四十一万円、会議費・雑費等七十九万円、土地・建物管理費八十九万円、教化費・保険・負担金等四十九万円。〔残金内訳〕予備資金二百万円、繰越金二百七十四万円。決算報告は、毎年4月に監事により監査を受け、氏子総代会にて承認を受けています。



河内神社へのアクセス(周辺図)

幸せつながる各種御守・御札・神棚頒布中。御朱印も受付。

必勝祈願・旅行安全心身安穏・良縁結び 河内神社限定 柳之実御守 800円

神楽団員募集!

およそ140年前から河内地域に伝わる伊勢神楽十二神祇を後世に繋ぐため、上河内神楽団では新たな担い手を募集しています。男女の別は問いません。年齢についても幅広く募集しています。皆様のお力を貸してください。活動内容をお聞きになりたい方は、左記へご連絡をお願いします。携帯090-2805-2315 上河内神楽団代表 大原博實



地域のご祈願は河内神社で

内容を、日時不明なことは電話等でご相談ください。河内神社社務所 (082) 928-2283



- 初宮参り 安産祈願 歳祝い 合格祈願 厄祓い 七五三祭 車祓い 安全祈願 商売繁盛 〔現地で祈願〕 地鎮祭(新築) 家祓い(入居) 神棚祭 井戸祓い 安全祈願 開店祭 上棟祭

裏面人形切抜き紙